

広報たかつき

知る 広がる 好きになる

TAKATSUKI

Days

歴史ラン

- 10 永井鉄線と花ロマン
- 18 高槻現代劇場 市民会館
- 22 令和4年度 当初予算

令和4年

5

No.1410



古代の風が香るまちかどの風景に 歴史タウンの実力を知る



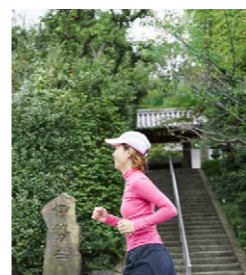
旧石器時代からはじまった 暮らしの跡を駆けぬける

高槻はいたるところに歴史遺産がある。もちろん、まちの真ん中にも。まちなかを、視点を変えて走ってみれば、見慣れた風景のなかに長い歴史を感じさせてくれる遺跡がさりげなく残っていることに改めて気づくだろう。

古墳が点在するJR北側の丘陵地は、弥生時代には集落が広がっていたそうだ。古曾部から丘を一気に下ってバス通りに出る。この南側から西国街道あたりに縄文時代の集落があったというから驚きだ。芥川を西に渡ったら、川西を抜けて広場のほうへ。ここも奈良時代の国の史跡。旧石器時代のキャンプ地が発見された遺跡をぐるりと回ったら、元のコースからめざす芥川桜堤公園。約2万年の歴史をかけぬけるワクワク。やっぱり高槻はおもしろい。



古曾部・芝谷遺跡
(約2000年前)
美しが丘周辺にあった弥生時代の集落跡。標高80~100mの丘陵上に100近くの住居が営まれた



伊勢寺の前を通過して天神町公園へ



標高約50mの丘陵上にあった弥生時代の集落跡で祭祀具とみられる銅鐸も発見。天神町公園は遺跡の一部

天神山遺跡
(約2100年前)



こんなところも遺跡なんて



このまま橋を渡ってさらなる遺跡へ

芥川遺跡
(約3500年前)

芥川小学校の南側、紫町、殿町にあった縄文時代の集落跡。墓やドングリなどの貯蔵穴が発掘されている

GOAL



がんばったごほうびに近くのお店で甘いもの



**郡家
今城遺跡**
(約2万年前)

旧石器時代に石器を作ったキャンプ跡が氷室町1丁目付近に見つかった(出土品は府有形文化財)。同じ場所に、奈良時代~平安時代の集落跡も発掘されている



三島高校の校門の向かいに説明板が。学校建設の際に発見された

清福寺町から郡家新町あたりにある。奈良時代に摂津国嶋上郡と呼ばれたこの地の役所跡(国史跡)。西側には郡の繁栄を願う寺(芥川廃寺)があったと伝わる

嶋上郡衙跡、芥川廃寺
(約1300年前)



行きか帰りは道を変えて清福寺太子堂に寄っても

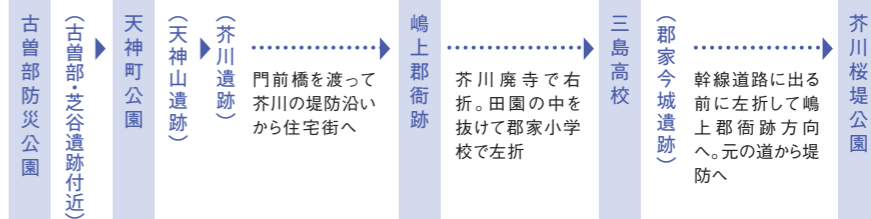


この広場も重要な古代の遺跡だったんだ

Course

スタートをどちらにするかで強度が段違い

下り坂を上宮天満宮の入り口まで下ったら右折。あとは平坦な道なので走りやすい。トレーニングしたい人は、最後にキツイ坂道がくる逆のルートを。



まちそのものが遺跡というリアル



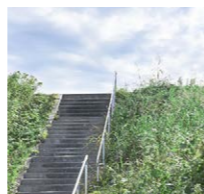


開放感いっぱいの川辺と 田園風景のなかに残る歴史の面影

淀川の歴史とともにある
空と風、古いまちなみに癒される

唐崎から三島江、柱本までの一帯は、古くから淀川水運の河港として高槻の歴史を支えてきたエリア。とくに江戸時代には三十石船の行き来で栄え、当時の面影を今に残す建造物が田園風景のなかに残されている。

町家が周辺に残る唐崎神社から走りはじめよう。淀川堤防に上ると、開放感たっぷりの青空と河川敷が目の前に。車の来ない道をのんびり走り、三島江で降りれば、船の運航を見守った常夜燈や段倉が。河港の栄華に想いをはせながら水路沿いに整備された道をさらに進む。柱本の寺社と古いまちなみを抜けてもう一度堤防に上がって、くらわんか舟の石碑でゴール！ 短い距離ながら淀川の開放感と歴史を体感できる満足感。汗をかいた体に川風が心地いい。



START



神社の北側、唐崎北付近も段倉スポット

唐崎過書浜跡

堤防は車が来ないから走りやすい!

唐崎の芥川河口にあった唐崎浜の跡地。往時は江戸幕府から通行を許された過書船が行き来していた



唐崎浜とともに河港として栄えた場所。天下泰平と安全を能勢妙見宮に祈願した、常夜灯石燈籠が当時のにぎわいをしのばせる

三島江浜跡

淀川沿いに残る
ヴィンテージビュー



広い空が気持ちいい~!

三島鴨神社



古墳時代に淀川鎮守の神を祀ったと伝わる神社。元は淀川の中洲に社殿があったが、淀川堤防修築を機に現在地へ遷されたという

秋はコスモスロード
春はレンゲの里に

段倉



石垣の上に建てられた土蔵。敷地を段々と高くした蔵を連結させることで、淀川の水害から米や家財を守った地域の知恵

くらわんか舟発祥地の碑

淀川を行き交う船に「くらわんか」と漕ぎ寄せ餅や酒などを売っていた、くらわんか舟の発祥地とされているのがここ



水路沿いから柱本の古いまちなみへ

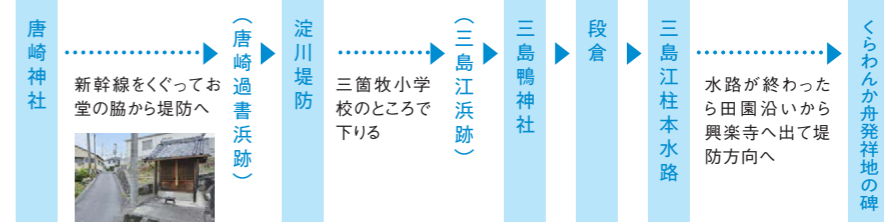


GOAL

Course

平坦で走りやすいから初心者にもおすすめ

車が少なく走りやすい道が大部分。距離的にも短く、気軽に走るのにぴったりのコース。まちなかを離れて、ちょっとしたリフレッシュにも。





トレラン、川ラン、タウンラン 戦国大名の舞台で高槻満喫

名城とゆかりの地で感じる高槻の豊かさ



芥川山城跡

三好山の山頂を中心にした16世紀前半築城の大阪府内最大級の城跡。戦国時代に畿内を支配した三好長慶の居城で、重臣・松永久秀も居住。織田信長が入城し天下を引き継いだ

START



芥川山城の看板前から摂津峡に入り、桜広場をめざす。看板は上の口バス停から摂津峡北側入口へ向かう途中



歩く人には配慮して

戦国武将の足跡をたどって北から南へロングラン

人気の憩い空間は歴史の舞台とも大いに関係している。戦国武将ゆかりの地をランニングで一気にたどるのはどうだろう。出発は、三好山のふもとにある芥川山城跡への説明看板前。城をとりまく摂津峡から、川の流れに沿って、高槻城公園にある高槻城跡をめざすコースだ。すがすがしい森の空気と溪流の音に癒されたら、芥川をそのまま堤防ラン。まちなかに向けて少し

ずつ変わる風景も楽しもう。皆だった時代もあるとされる今城塚古墳でひと息ついたら、今度は女瀬川沿いへ。住宅街のなかの武将ゆかりの地を抜けたら再び女瀬川に出て、芥川へ。空が近く、川を通る風が気持ちいい水辺の道は、どこまでも走りたくなる爽快感。高槻城公園へ到着すれば、豊かな自然と歴史をたっぷり味わった満足感に包まれるはず。

今城塚古墳

江戸時代中期に出版された古地図には古墳ではなく「古城」という文字が。戦国時代には砦として使われたという説もある

ここでひと休み



今井手井堰跡

戦国時代に郡家村と真上村が芥川の用水の使用を争った井堰(※)の跡がこの付近に。三好長慶の裁定で郡家村が勝訴した。17世紀の川の付け替え工事により当時の井堰は残っていない
※川から水を用水路へ引きこむための取水口

水道橋の真ん中に説明板が



高槻城

和田惟政の入城後、キリシタン大名・高山右近などを城主とし、歴史の表舞台に。明治の廃藩置県により廃城となった

GOAL



芥川歩道橋まで行って曲がっても

川沿いの道は一緒に走っても楽しい!



女瀬川をひたすら南下

住宅街を抜けて再び女瀬川へ

東五百住には大河ドラマ「麒麟がくる」に登場した松永久秀の屋敷があったとの伝承がある。松永久秀は東五百住出身の土豪出身説が有力

津之江公園まで行ったら芥川を北上



Course

距離を走りたい人向け 市内縦断ロングコース

人気のランコースをつないでいるので距離はあるが道は平坦なところが多く、なにより気持ちよく走れる。一部だけを走るのもアリ。

